

18 住宅火災

【関連章第7章1】

事例3 「落下したたばこの火種により出火した火災」

出火時分 6月 17時ごろ

用途等 共同住宅 耐火造 4/0 延 1,000 m²

被害状況 建物部分焼 1棟 5 m²等

概要

この火災は、共同住宅の4階居室から出火したものです。

出火原因は、居住者がベッド上で吸っていたたばこの火種が、気付かないうちに落下し、居室内のごみ等に着火し出火したものです。

隣室の居住者は自動火災報知設備の鳴動音に気付き、廊下に出ると煙を発見しました。煙が出ている居室に人がいないか呼びかけましたが、応答がなかったため、避難に重点をおき、避難の途中で接触した他の居住者に119番通報を依頼しています。避難に重点をおいたため、初期消火は実施されませんでした。

教訓等

この火災は、たばこの火種の温度は一般的に中心部では700～800℃、表面でも200～300℃の範囲であり、この火災のように、室内の収容物上に火種などの火源が落下すると、時間の経過とともに可燃物に着火し出火することがあります。

住宅での火災を防ぐためにも、室内の整理整頓を心がけ、たばこを吸うときは決められた場所で喫煙し、吸い殻を捨てる際には水につけるなどして、完全に消火したことを確認してから捨てるようにしましょう。



写真 18-5 出火室の焼損状況

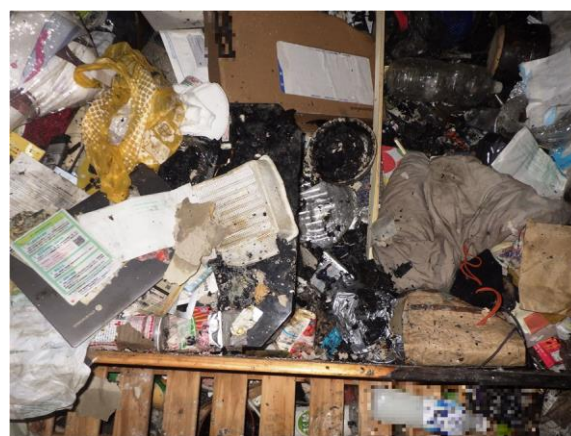


写真 18-6 出火箇所付近の状況